

令和6年度全国学力・学習状況調査の結果について

4月18日に、本校6年生を対象に実施された「全国学力・学習状況調査」についての結果がまとめました。今年度は、国語・算数の2教科のテストと、家庭での過ごし方や生き方に関する質問調査も実施されており、その結果の概要等、本校の子どもたちの状況をお伝えします。

なお、全国学力・学習状況調査は子どもたちの学習状況を知り、子どもたちの可能性をさらに伸ばしたり課題を解決したりしていくためのものです。結果が学力の全てを表しているわけではありません。学力は、学校・家庭・地域での地道な積み重ねにより定着していくものであり、望ましい生活習慣や日々の学習習慣がその基盤となります。

これからも、子どもたちの健やかな育ちと学びの環境づくりのために、ご協力をお願い致します。

国語科より

国語の本校正答率は全国平均とほぼ同じ結果となりました。学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことができるかどうかを見る問題や、資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫することができるかを見る問題での正答率が高い結果となりました。

しかし、文の中における主語と述語との関係を捉えることができるかどうかを見る問題や、登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉えることができるかどうかを見る問題などで正答率が低い結果となりました。

日常的に主語が何かを意識して文章を読んだり書いたりすることが重要だと考えます。また登場人物の相互関係や心情等を捉えるためには、挿絵を手掛けたり読んだり、場面と場面のつながりを意識して読んだりするなど低学年からの積み重ねが重要です。しっかりと系統的に指導にあたりたいと思います。

日常的に読んだり書いたり、
系統的に積み重ねよう！



算数科より

算数の本校正答率は全国平均とほぼ同じ結果となりました。中でも、問題場面の数量の関係をとらえ、式に表すことができるかどうかを見る問題や、角柱の底面や側面に着目し、五角柱の面の数とその理由を言葉と数を用いて記述できるかどうかを見る問題で正答率が高い結果となりました。

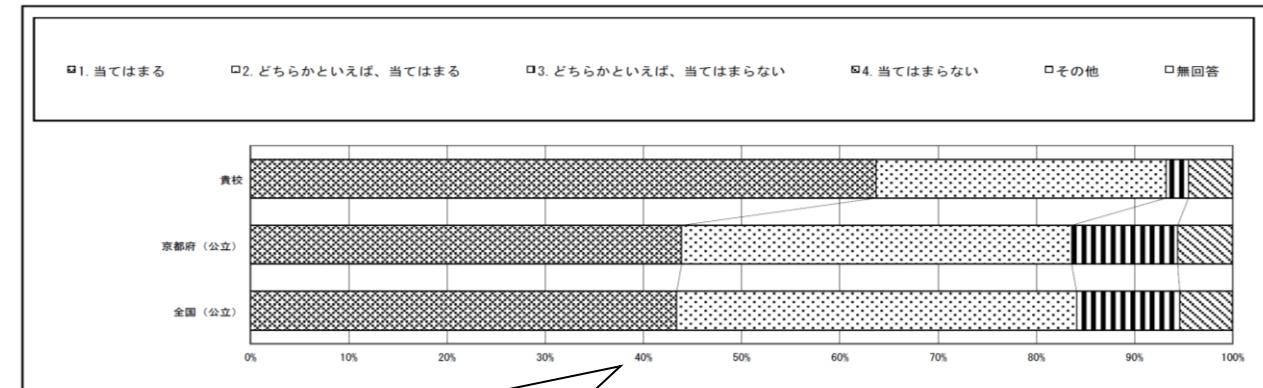
一方で、直径の長さ、円周の長さ、円周率の関係について理解しているかどうかを見る問題や簡単な二次元の表を読み取り、必要なデータを取り出して、落ちや重なりがないように分類整理することができるかどうかを見る問題の正答率が低い結果となり、課題が残りました。児童が必要なデータを読み取っているかを確認するためにも、データを読み取って捉えたことを伝え合う活動を積極的に行っていき、その際にも、身近な場面における興味や気づきから生じた疑問を解決できるような問題場面を設定していくことが大切であると考えています。

それぞれの関係性までしっかり理解！
必要なデータを読み取り、分類しよう！



児童質問調査より①

Q 自分には、よいところがあると思いますか？

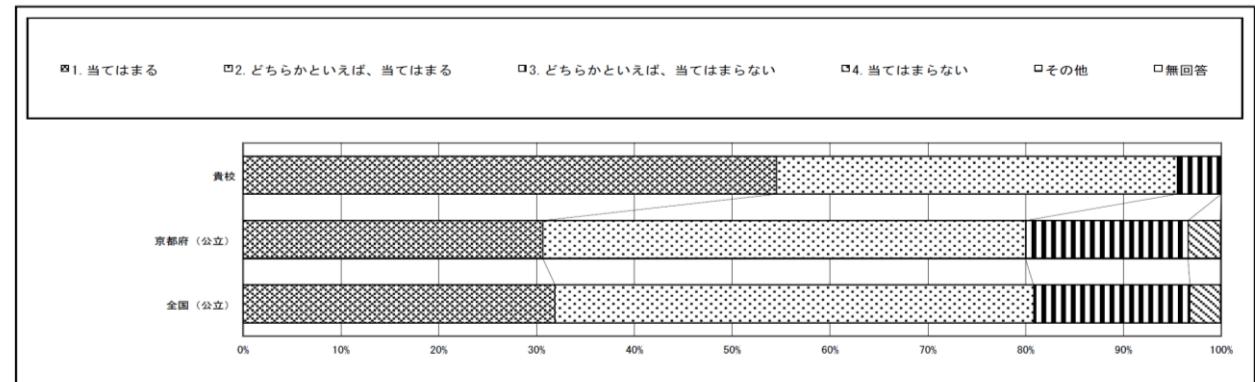


「自分には良いところがある」と答えた本校児童の割合が全校平均と比べて大きく上回っています。

子ども達一人一人の頑張りを認め、声かけを大切に指導にあたっています。学校・家庭・地域で一丸となり、自己肯定感をさらに高めていきたいと思います。

児童質問調査より②

Q 学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができますか？



学習したことを見直し、次の学習につなげることができていると感じている本校児童の割合は、全国平均を大きく上回っています。

毎時間の授業において、学習の終末にはふりかえりの時間を大切にしています。どんなことが分かり、学習したことをどのように広げていけそうか等、その時間だけで終わることなく日々のつながり、社会へのつながりを実感できることを大切にしています。

全体を通した本校の成果と課題

国語・算数ともに全国平均とほぼ同等の結果となりました。無回答率においても全国平均と比べ低い結果が見られます。児童が問題にしっかりと向き合い、最後まであきらめないで取り組もうとする姿勢が育まれています。本校では「おもいや考えをいきいきと伝え合う子」の育成を目指し、思考を「つなぐ」ことを意識した話し合い活動に取り組んでいます。自分の意見だけに留まることなく、他者の意見を受けて新たな考え方をもち、表現する力を伸ばしていくよう、授業改善を進めていきます。今後も、家庭・地域と連携を密にしながら、学力向上に取り組んでいきたいと思います。ご支援とご協力をよろしくお願ひ致します。

